

人権学習講座「落語会」(足見)

12月3日(日)、足見ふれあいセンターにおいて草間公民館人権学習講座として「落語会」を開催しました。12月4日～10日の人権週間に合わせて取り組みとして企画し、地区住民等約50名が参加しました。この日は、講師に岡山大学落語研究会OBで現在社会人落語でも活躍されている車家化狐。(くるまやかっこ)さんをお招きしました。「落語に見る人と人の繋がり」をテーマに、「寿限無」「長短」「親子酒」「夜鷹そば屋」の4本が演じられました。それぞれの演目に登場する親子・友達等人との繋がり、結びつきの大切さが笑いの中にもあふれる親しみのあふれる落語でした。また、同じグループで活動されている風流亭蘭美大(ふうりゅうていらみえる)さんの三味線も演出を盛り上げました。参加者は、テンポの良い落語に引き込まれ、会場には何度も笑い声が広がり、有意義な時間を過ごされました。



車家化狐さんの落語に聞き入る参加者

保育園児との交流会及び健康教室(土橋)

12月7日(木)、土橋みらいの会(田井義明会長)主催の健康アップ教室が開催され、18名の参加がありました。この日は、まず草間台保育所との交流会として、園児15名による歌やダンス等の発表がありました。園児の可愛らしい歌声や踊りに、参加者から拍手や歓声が上がりました。最後には大きな拍手が鳴り響きました。次に、健康医療課の藤野さんから「認知症の予防」をテーマにした講話、田村健康運動指導士からレジスタンス運動とバランストレーニングを学びました。園児と2人1組になっての足じゃんけんもあり、楽しく交流と健康づくりをされました。また、14日(木)には来年の干支「辰」の切り絵教室が行われました。今年で12支の切り絵が揃い、参加者は完成した作品にとっても喜んでおられました。



園児のダンスに大きな拍手を贈る参加者

新そば収穫祭(草間)

12月9日(土)、草間カルスト里山の会(堀江利明会長)の地域振興部(田本友広部長)は、「2023年産そば収穫感謝祭」と銘打った新そばの試食会を初めて開催しました。今年の新蕎麦栽培も草間台営農組合のもとで収穫乾燥等の全ての作業が終了。久しぶりに生産量も5トン(作付面積約7畝)を超え、生産者にも手応えのあった年となりました。こうしたことから、里山の会として草間産そばの消費拡大と新そばをアピールする狙いで開催され、宮原在住の中山勇治さんと中井町在住の藤野貴美恵さんの打った新そば120食が用意されました。またケンチン汁等は、女性料理グループ(カルストむつみ会・渡辺孝子代表)が担当。さつま芋の天ぷら(無料)も振る舞われました。午前11時の開店から地域内外の住民が訪れ、新そばでのケンチンそば・かけそば・ざるそばを求めていました。午後2時の閉店までに約100人が来場し新そばの味を楽しんでいました。また、この日の午前中には、教育文化部(梶上守部長)のクリスマスリースづくりが行われ、参加した約25名の個性豊かなリースが完成しました。



新そばの味を楽しむ参加者

草間台GG愛好会12月大会

12月13日(水)、土橋交流センターグラウンドにおいて、草間台グラウンドゴルフ愛好会の今年最後の大会が、会員33名の参加で行われました。成績は次のとおりです。

【男子の部】
 ①藤原健雄 52打 ②福水 真 ③小川晴夫
 ④坂本軍治 ⑤宮坂要治

【女子の部】
 ①藤井シゲノ 60打 ②中山美恵子 ③西村宮子
 ④清本ヒサ子 ⑤藤野晴美

【ホールインワン賞】
 ・小川晴夫 ・福水 真 ・藤野和生 2本
 ・西村宮子 ・村田利夫 ・藤原健雄
 ・笹田 彰

【ホールインワン賞15位】
 ・福水 真 ・中山美恵子 ・藤波英子
 ・数原ユリ子 ・藤原健雄 ・坂本軍治



サテライト・デイ(土橋・草間)

12月4日(月)、土橋地区(参加者21名・土橋交流センター)と草間地区(参加者21名・草間公民館別館)でサテライト・デイが開催されました。両地区とも、新見公立大学の木下香織教授と引率の先生が2名、学生さん7名を講師に、健康づくり教室を行いました。この日は、「心臓の病気の予防」をテーマに、学生さんからの講話の後、クイズなどを交えて毎日の生活について楽しく学ぶことができました。また健康体操では、筋力の維持向上や運動不足の解消のため、「365歩のマーチ」の曲に合わせて手足を動かす体操を行ったり、学生さんを含めたチーム対抗ゲームで熱く盛り上がりました。参加者は、学生たちとの会話で楽しくふれ合ったりして、終始笑顔で心の温まる時間を共有しました。



チーム対抗ゲームで盛り上がる(土橋)



曲に合わせて手足を動かす体操(草間)

今月は、新シリーズ『草間台地の魅力』はお休み致します。

俳句

涸れ滝や人声遠くなりゐたり
身構えるばかりの一日秋の蜂

長田保子
橋本八重子

川柳 題「積」「転」

助手席に積んだ具材で夜は鍋
ついさつき走ると転ぶと言ったのに
積んできた過去が明日の橋になる
おむすびころりん追うて私も同じ穴
見積もりが出来て本気に腰上げる
今時は転がる程の笑いなし

西本八寿江

田井芳枝

小川久子

才田茂美

高畑文子

中村すみえ

笹田 彰

短歌

早や師走杖を頼りに外歩き
外気を感じて身も引き締まり
懐かしい何処へ行くにも自転車
積読の全集本は誰が読む
勤め人転勤異動宿命だ

中村すみえ

山中で目に留まりたる冬苺
ルビーのごとく輝くを食む

滑 都

電話して風邪ひかぬよういふ我に
婆ちゃんもなと男孫が氣遣う

杉 秀樹

百年を振り返りみれば懐かし
喜び悲しみ五分五分の人生

西山富美子

長岡愛子

